

東アジア学会活動記録

【2006年】

◆ 第40回定例研究会

日時：2006年5月20日（土）15時30分～17時

会場：西南学院大学学術研究所 第4会議室

報告：「法人化と大学改革—北九州市立大学の事例から考える—」

矢田 俊文（北九州市立大学学長）

◆ 第41回定例研究会（共催：国際経済学会九州山口地区研究会）

日時：2006年7月29日（土）13時30分～17時30分

会場：西南学院大学学術研究所 大会議室

報告1. 「北朝鮮の中・韓との経済協力」

李 演華（西南学院大学大学院経営学研究科）

報告2. 「東アジア NIEs のイノベーション・システム」

尹 明憲（北九州市立大学都市経済研究所）

他に国際経済学会九州山口地区研究会の会員による報告が行われた。

◆ 第16回記念大会（共催：ビジョンと連帯 21）

開催日：2006年12月2日（土）

会場：韓国海洋大学

第1セッション：福岡・釜山共同発展戦略・経済（FTA・地域金融・物流）

経済（FTA・地域金融）座長：洪 ジャンピョ（釜慶大学教授）

<FTA 部門>

韓国側：「韓日 FTA が釜山地域経済に及ぼす影響」

金 ゾングウック（釜山発展研究院釜山経済動向センター長）

日本側：「日韓 FTA が自動車部品産業に与える影響」

藤川 昇悟（阪南大学経済学部助教授）

<地域金融部門>

韓国側：「外国為替危機以後の韓国地域金融の変化と見込み」

朴 スニャン（釜山銀行調査研究部）

日本側：「北九州地域の中小企業金融の現状と企業の意識」

西田 顕生（西南学院大学商学部助教授）

討論者

韓国側：朴 チェジン（東西大学教授）、日本側：王 忠毅（西南学院大学商学部教授）

経済（物流）座長：南 ギチャン（韓国海洋大学教授）

韓国側：「釜山・福岡の港間競争と協力」

金 クァンフィ（東義大学教授）

日本側：「北東アジア国際物流の視点から見る釜山港と九州の補完関係」

汪 正仁（立命館アジア太平洋大学教授）

討論者

韓国側：梁 ウォン（釜山港湾工事副社長）、

日本側：小川 雄平（西南学院大学商学部教授）

第2セッション：九州・釜山の海洋環境保全と観光交流協力

<環境部門> 座長：具 滋相（釜山環境運動連合常勤代表）

韓国側：「北東アジア海洋環境保全のための協力・連帯方案」

朴 スックキョン（(社) 環境科学自治研究所前任研究員）

日本側：「九州における環境産業の現状と今後の展望～北九州エコタウン事業を中心として～」

徳田 一憲（(財) 九州経済調査協会研究主査）

討論者

韓国側：金 ジャグァン（釜山カトリック大学教授）

日本側：矢野 正孝（北九州工業高等専門学校教授）

<観光部門> 座長：黄 ヨンヒョン（東亜大学教授）

韓国側：「釜山・九州観光交流協力方案」

ユ ヒョンスック（東義大学教授）

日本側：「福岡と釜山の観光交流ダイナミズムと観光協力」

千 相哲（九州産業大学経済学部助教授）

討論者

韓国側：李 ジュンホ（(株) 旅行博士釜山支店長）

日本側：金 英哲（グローバル・ネット代表）

第3セッション：漢字文化・東アジア国際秩序

<漢字文化部門> 座長：金 泰萬（韓国海洋大学教授）

韓国側：「文の字源で見た文字中心主義の可能性」

河 ヨンサム（慶星大学教授）

日本側：「東アジアとヨーロッパとの出会い、そして漢字の運命」

安達 義弘（福岡国際大学教授）

討論者

韓国側：崔 ナンミン（韓国海洋大学外来教授）

日本側：海村 惟一（福岡国際大学助教授）

<東アジア国際秩序部門> 座長：崔 永浩（霊山大学教授）

韓国側：「日本のナショナリズムと独島歴史の歪曲」

崔 長根（大邱大学教授）

日本側：「紛争の東アジアの海を平和と共生の海へ」

申 明植（熊本学園大学教授）